

施工説明書

リフォーム用高気密型床下点検口

SPF-R6060F12-RF／SPF-R6060F15-RF

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
施工説明書は工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

	この記号は、禁止の行為を示しています。		この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
---	---------------------	---	-------------------------------

⚠ 注意

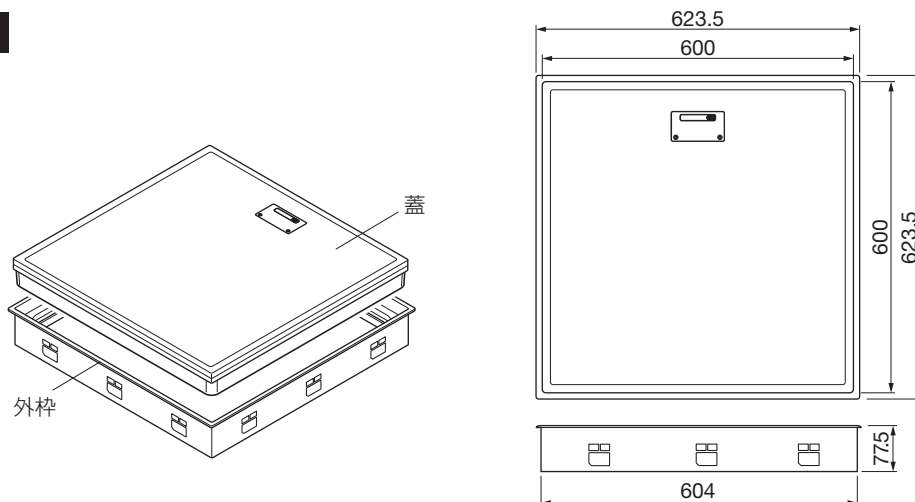
 禁止	樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。
 指示に従う	気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。 収納庫は、収納物の重量によって変形する恐れがありますので、ブロック・レンガ・モルタル(間にビニールシートを入れる)などで収納庫の底部を受けるか、別売品の床下収納庫用補強ステーのご使用をおすすめします。 2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。

※記載事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。

本製品の対応品名		
標準型	600×600タイプ	フローリング合わせタイプ 板厚12mm
		フローリング合わせタイプ 板厚15mm

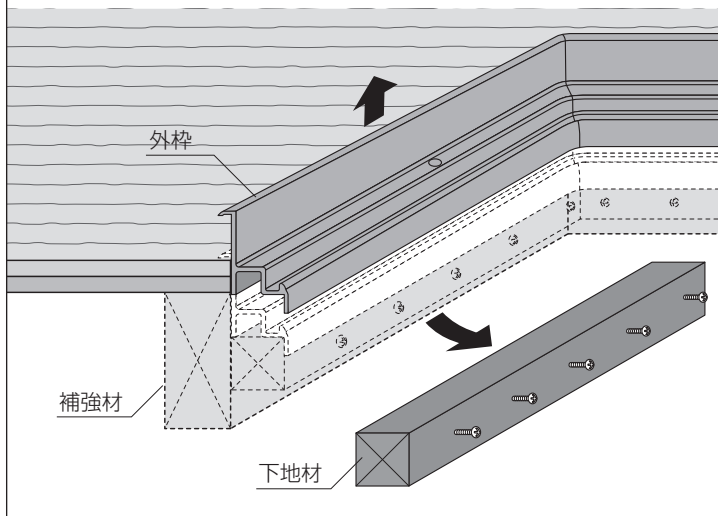
※その他の品名には対応しておりませんので、お買い求めの際にはご注意ください。

製品図



1 施工の前に

- 1** 既に取り付けてある床下点検口を取り外します。外枠を取り外した後、下地材などがある場合には取り外してください。
※既存の補強材が、幅38mm以上で高さ89mm以上のものであれば、そのままご使用いただけます。

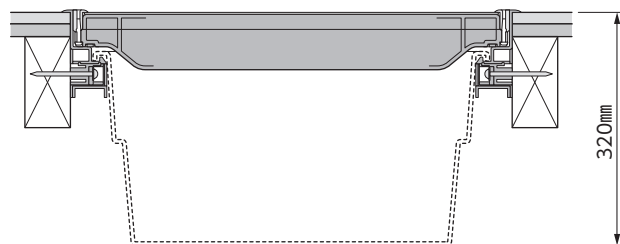


※気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。

収納庫を使用する場合のフロア面から土間までの高さは

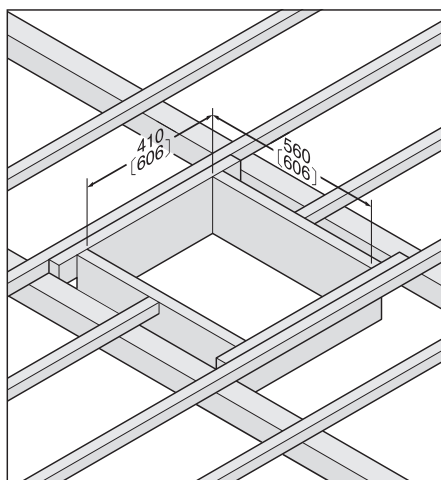
- 収納庫薄型タイプ(SPF-60S1)使用時は190mm以上必要
- 収納庫浅型タイプ(SPF-60S2)使用時は320mm以上必要
- 収納庫深型タイプ(SPF-60S3)使用時は480mm以上必要

※浅型タイプの納まり図

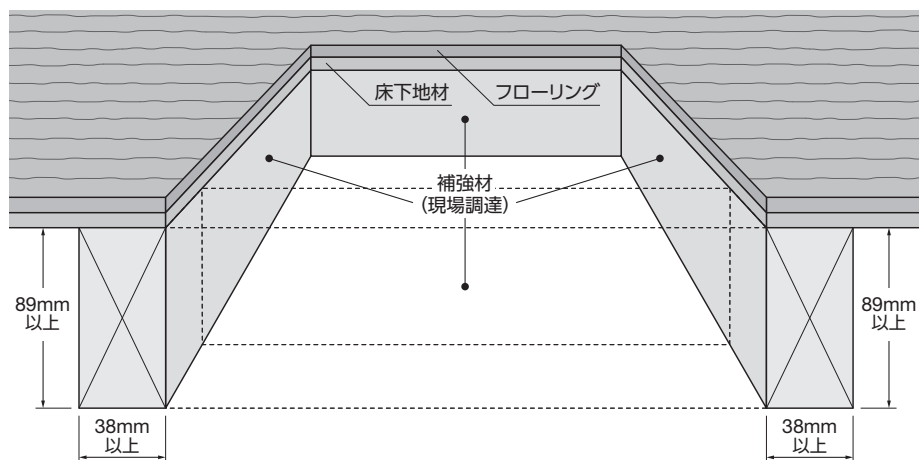


2 下地を作り、床下点検口の外枠を取り付けます (根太、補強材、補助材の構成)

- 1** 600×600タイプは**606×606mm**の開口部が必要です。

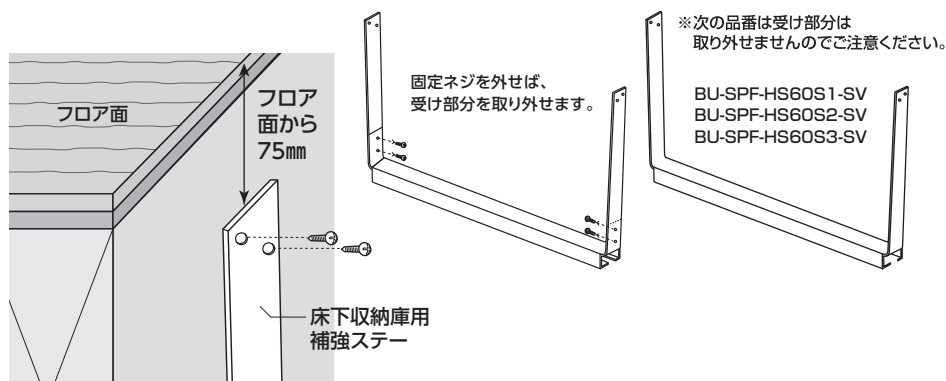


- 2** 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。
※補強材には乾燥材をご使用ください。
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



床下収納庫用補強ステーを別売でご用意しています。

床下収納庫用補強ステーをご使用の場合は**2**完了後、ステーの上端がフロア面から75mmの位置になるように付属のネジ(φ4×16)で補強材(現場調達)に取り付けてください。
※2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。



※次の品番は受け部分は取り外せませんのでご注意ください。

BU-SPF-HS60S1-SV
BU-SPF-HS60S2-SV
BU-SPF-HS60S3-SV

対応収納庫	品番
SPF-60S1	BU-SPF-HS60S1-SV
SPF-60S2	BU-SPF-HS60S2-SV
	BU-SPF-BL-HS60S2
SPF-60S3	BU-SPF-HS60S3-SV
	BU-SPF-BL-HS60S3

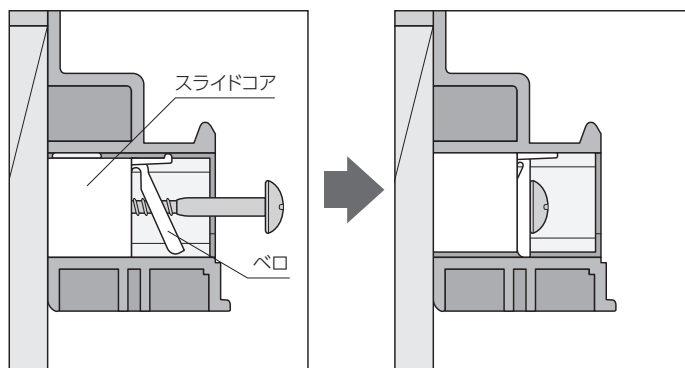
収納庫の注意点



下表の重さ以上ものを入れないでください。また、一点に集中して荷重がかかると変形の恐れがあります。

SPF-60S1	SPF-60S2	SPF-60S3
70kgまで		

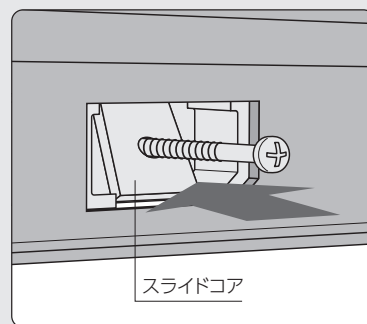
- 3** **2**に外枠を取り付けます。外枠側面に同梱しているスライドコアを奥まで差し込み、木ネジで補強材（現場調達）に取り付けます。



木ネジは必ず
水平に入れてください。

ベロがまっすぐ立つまで
木ネジを留め付けてください。

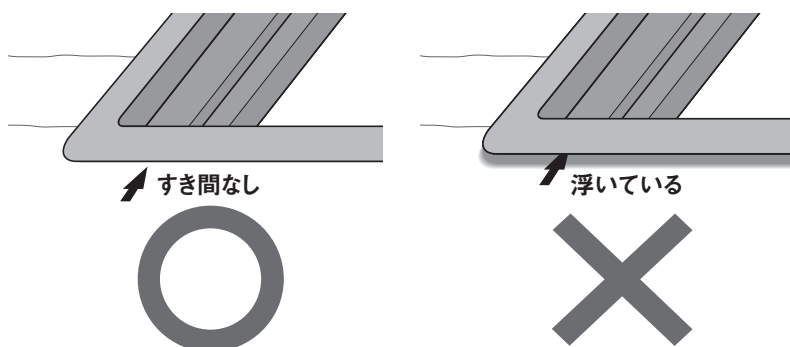
スライドコアは、中央部分から留め付けてください。
全てのスライドコアがしっかりと留め付けられていることを
確認してください。



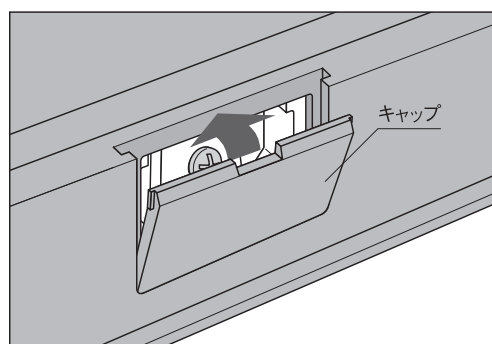
●600×600タイプ



- ！注意** 外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。
すき間があると、外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



- 4** **3**で取り付けした外枠に同梱しています
キャップをセットしてください。



※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

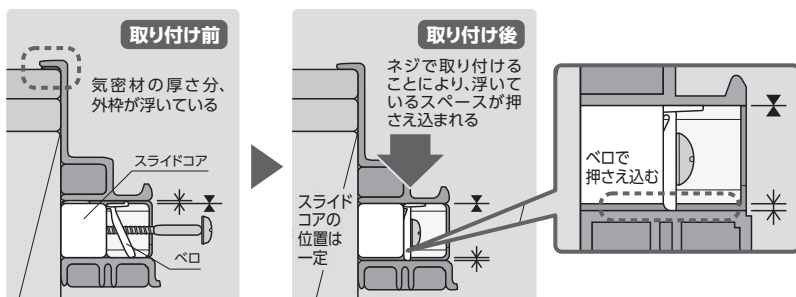
■スライドコアの取り付けについてのお願い

下記の図の通り、外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると（スライドコアは、あらかじめ外枠の奥までしっかりセットしておいてください）スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。スライドコアは、外枠に手を触れずフリーハンドで取り付け頂きますよう、お願いいたします。

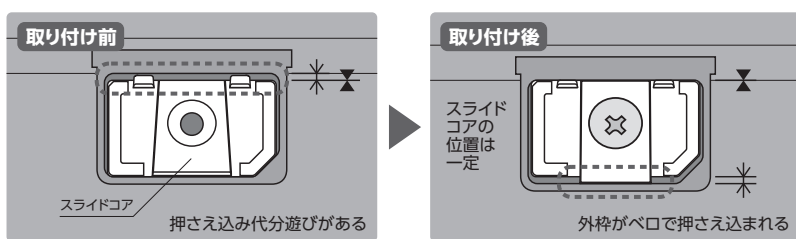
※スライドコアは中央部分から留め付けてください。

※各辺スライドコアの取り付け位置をずらしていますので、外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

補強材への取り付け方法
【側面】

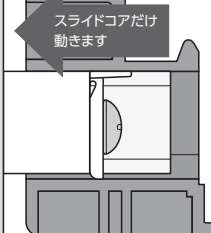


補強材への取り付け方法
【正面】



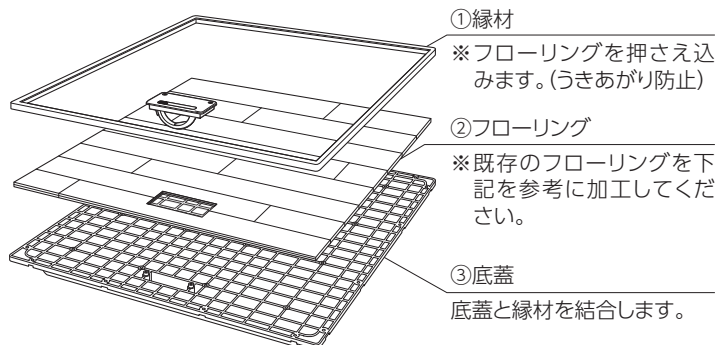
補強材がズレていても、スライドコア
だけが動きますので、ピッタリと取り
付けることが可能です。

補強材



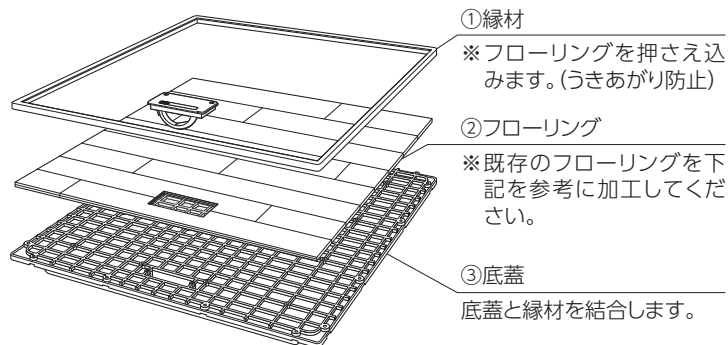
フローリング合わせタイプ (SPF-R6060F15-RF)

板厚15mm専用タイプ



フローリング合わせタイプ (SPF-R6060F12-RF)

板厚12mm専用タイプ



※板厚15mmに対応します。※フローリングは、F ☆☆☆☆をご使用ください。 ※板厚12mmに対応します。※フローリングは、F ☆☆☆☆をご使用ください。

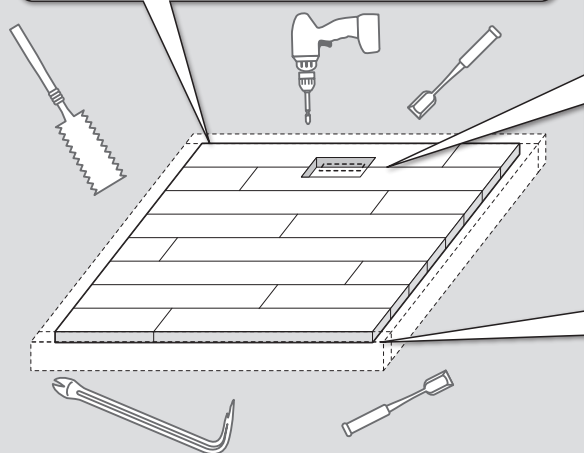
フローリング切断寸法

577.5mm × 577.5mm

■既存のフローリングの加工方法

フローリングの幅のカット

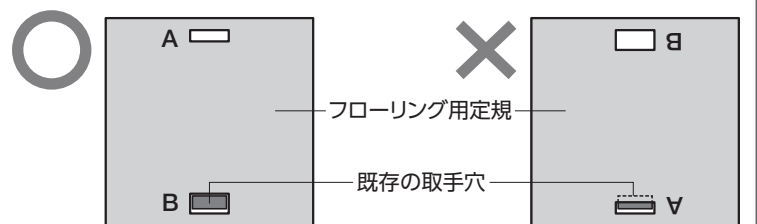
同梱のフローリング用定規に合わせてカットしてください。
(フローリング切断寸法: 577.5mm×577.5mm)



取手部分の穴あけ

フローリング用定規の取手穴AまたはBが、既存の取手穴に被るようにして穴を開けてください。

フローリング用定規は既存の取手穴が完全に納まる方をご使用ください。



厚みの調整

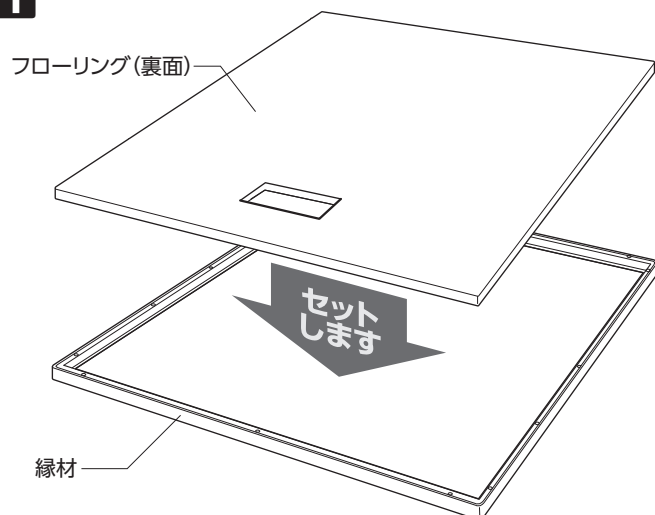
フローリングの板厚を12mmもしくは15mmに調整してください。

※フローリングの裏面は、凸部分がないよう整えてください。

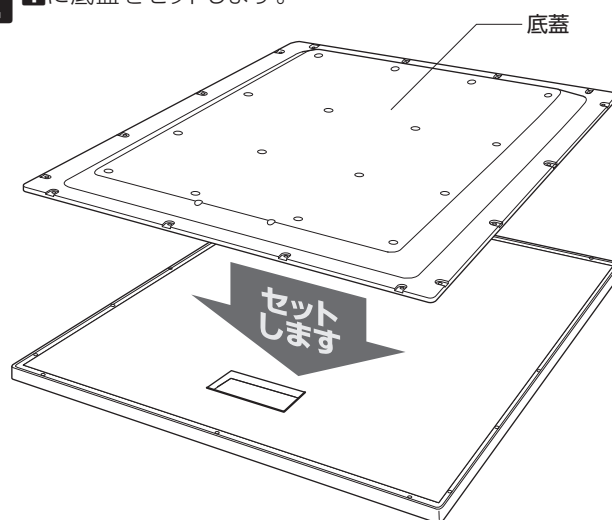


次の手順で組み立てていきます。

1 縁材に加工を終えたフローリングをセットします。



2 1に底蓋をセットします。

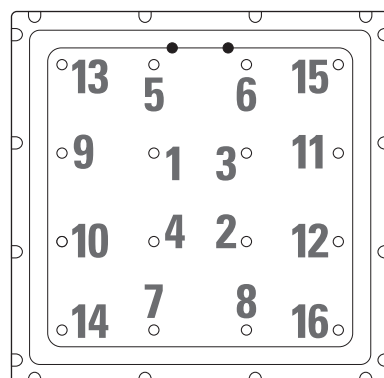


3 2を同梱のネジで留め付けていきます。
その前に次の点を、ご確認ください。

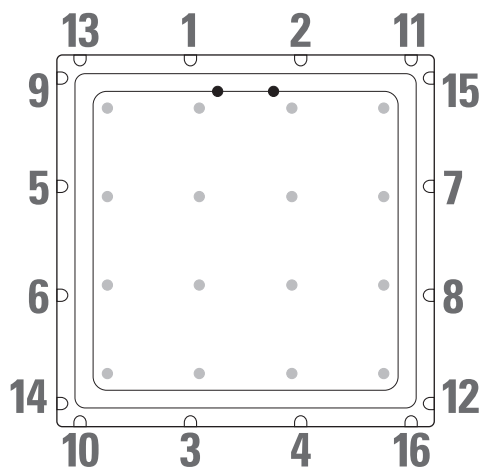
- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は必ず平らな面で行ってください。

4 同梱の蓋組立用の短いネジ (4×16) で、下図の順番で留め付けていきます。

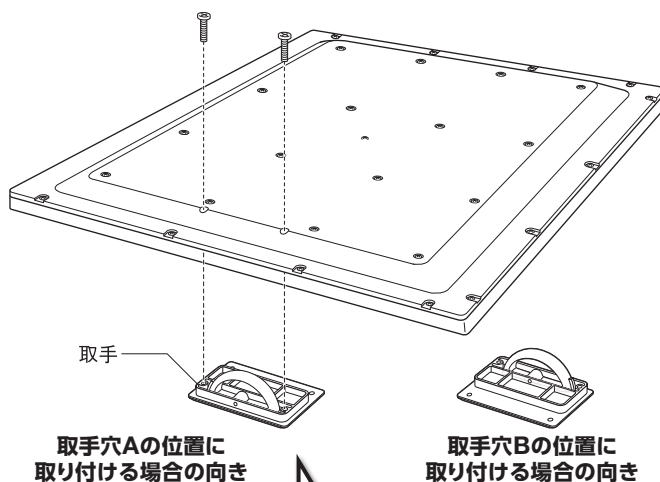
※ 光沢のあるフローリングは付属のワッシャーをご使用ください。
フローリング面に突起が出る恐れがあります。



5 次に同梱の蓋組立用の長いネジ (4×20) で縁材と底蓋を下図の順番で留め付けていきます。

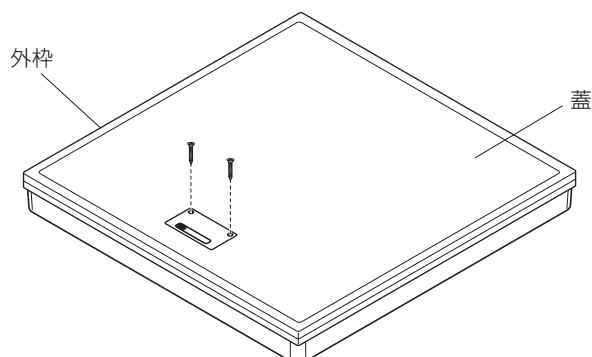


6 取手を取り付けます。取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の小ネジ (M4×16) をドライバー (手回し) で留め付けます。

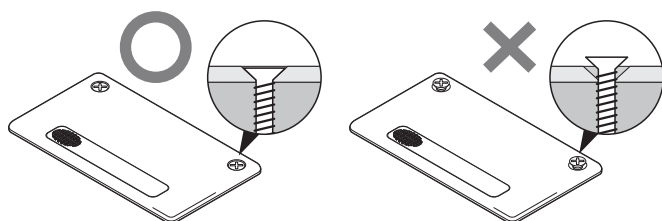


7 次に同梱の皿ネジ (3.5×12) をドライバー (手回し) で留め付けます。

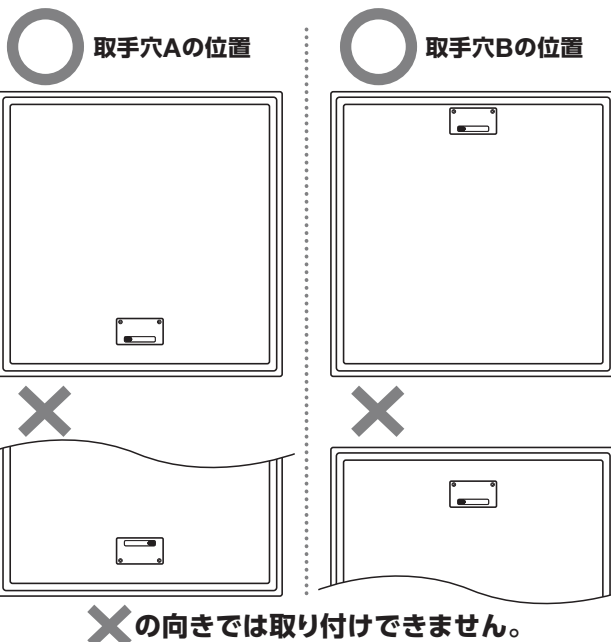
※ 皿ネジを留め付ける前に、φ3、深さ8mm程度の下穴をあけてください。



※ 皿ネジは頭が沈み込むまでしっかりと留め付けてください。

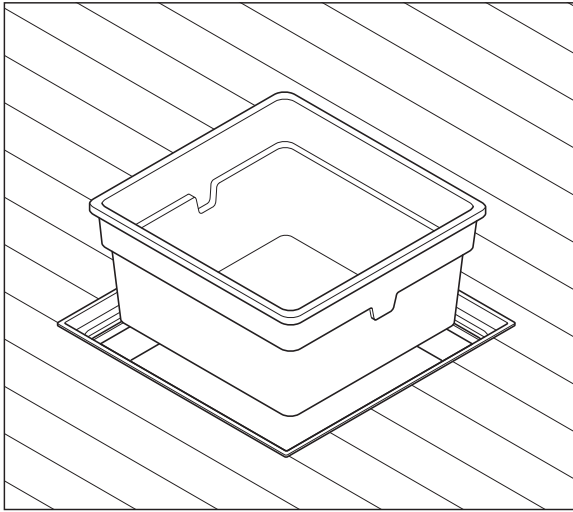


補足 取手は下穴の関係上取り付けできる向きがあります。

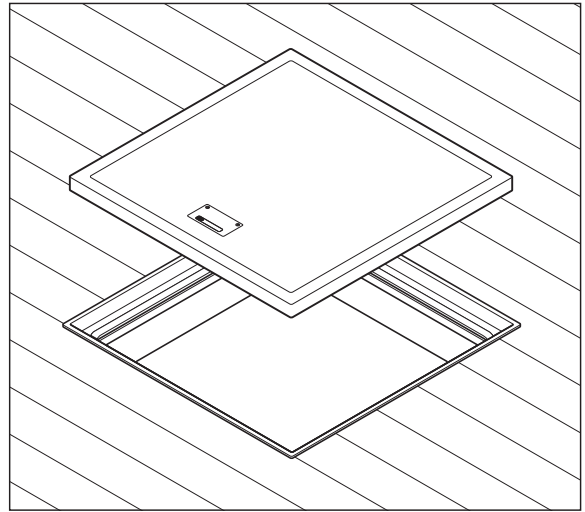


4 蓋を取り付けます

1 収納庫を取り付ける場合は、外枠へセットしてください。



2 蓋を外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。



5 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目	チェック
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか？ 2 の 4	
蓋の開閉はスムーズですか？	
組み立てた蓋や取手にガタツキはありませんか？	
外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか？	

